

# 幼稚園用教育資料『ほほえみ』の活用にあたって

## 1 幼児の主体的な活動を促す指導

「幼稚園教育要領」には、幼稚園教育の基本の一つとして、

幼児は安定した情緒の下で自己を十分に発揮することにより発達に必要な体験を得ていくものであることを考慮して、幼児の主体的な活動を促し、幼児期にふさわしい生活が展開されるようにすること。

が述べられています。

幼児は、その発達や生活経験に個人差はありますが、5歳ごろには、物事の是非を、大人が言うからではなく、自分で考えて自分で判断できる基礎が形成されると言われています。

本資料の活用にあたっては、これからの幼稚園教育の方向性や、幼児の発達過程を踏まえ、幼児が主体的にかかわり、自己を十分に発揮し、自由に表現活動することを促す指導が重要です。

## 2 適切な機会をとらえて

本資料は、人権教育の基盤である生命尊重や豊かな人間関係づくりにつながることや、人権感覚を育成すること、多文化共生をはじめとする様々な人権に関わる課題解決の導入教材となることを意図して作成しています。

指導例には、それぞれの教育資料のねらいとともに、資料の活用方法を説明しています。指導者は、幼児や家庭、地域の実態に即して、また、幼稚園行事や教育活動を視野に入れ、学級全体の活動で、時にはグループ活動で、適切な機会をとらえて活用を図ることが大切です。指導例は、幼稚園での検証結果に基づいて作成していますが、幼児とともに楽しい時間を共有するように創意工夫する必要があります。

また、本資料は家庭や地域に持ち帰ることができるよう、データ配布をしています。幼児対象だけでなく、保護者や地域の人たちを対象に活用することもできますので、地域ぐるみで人権教育の推進を図ることも考えることができます。

## ○ 指導例について

<分類>	「人権教育基本方針」の内容項目による分類を示しています。
<資料名>	教育資料名を示しています。
<資料について>	教育資料の形態や教育資料の作成のねらいを記しています。
<ねらい>	教育資料における目標を記しています。
<内容>	ねらいを達成するための指導事項を記しています。
<指導の観点>	指導にあたって留意すべき点や配慮すべき点を記しています。
<展開例>	指導展開の一例を示しています。
<活動内容>	展開例で考えられる幼児の活動について記しています。
<環境の構成・教師の援助>	展開例で考えられる指導者の環境構成や援助を記しています。
<資料の活用について>	教育資料の活用例や、活用にあたっての配慮事項等を記しています。